

葬祭業者名	株式会社弘前公益社
所在地	青森県弘前市大字松森16
調査日	2018年1月31日

## 花祭壇の開始時期と近況

花祭壇の開始時期	昭和56年頃から
花祭壇の種類	決まっていない（利用者の要望次第）
花祭壇の利用者数	年間900組
花祭壇と白木祭壇の割合	花祭壇：白木祭壇＝10：0
花祭壇は、家族葬と一般葬どちらが多いか	一般葬

- ✓ 一般葬・家族葬に関わらず、生花祭壇を採用しています。
- ✓ 家族葬は、全体の20%です。金額によって祭壇の規模が違います。
- ✓ 東北・関東では、費用の割に豪華に見える飾りつけが好まれる傾向があります。
- ✓ 家族葬でも生花のみの飾りつけは少ないです。
- ✓ 祭壇のほかに、生花をかざる場合もあります。

## 近年の花祭壇の傾向

- ✓ 菊を使わない洋花のみのご要望や、菊・スプレー菊などを組み合わせたグラデーション祭壇が増加傾向です。
- ✓ 祭壇の規模が一般葬でも小さくなる傾向にあります。
- ✓ 菊のみの祭壇は少なくなっており、洋花を使用するのが一般的となっています。
- ✓ 色もピンク等の明るい色、故人の好きな色が使用されています。

## 花祭壇で用いる花について

主に使用する花（色）	キク（白）、ユリ（白）、カーネーション（各色）、トルコギキョウ（各色）、コチョウラン（白）
使用する花の長さ	10～70cm（基本長は50cm）
使用する花の形状	特に決まりは無い
好まれる花	洋花各種
好まれる色	明るい色
使用する花の産地	メインは国産（九州産）、サブは国産（愛知県産）
産地の割合	国産：輸入＝8：2
仕入れの方法	卸・仲卸から
標準的な花祭壇で使う花の量	10種類
標準的な花祭壇で使う花の本数	400本
使用する花に求めるもので、特に重視するもの	日持ち性、価格、品質

## 花祭壇作りについて

### 作り方で重視するポイント

- ✓ 生花、祭壇の設置はすべて自社で行います。
- ✓ あくまでも、遺族の要望や故人の想いや好みを優先して、祭壇の形、花を選択して形に表しています。たとえば故人が好きな花、色を飾るなどしています。
- ✓ お客様の要望を第一に考え、バランス・色合いを重視しています。

### 使う花の種類・量・形について

- ✓ 花祭壇で使用する花きの種類・量は、相手の要望、予算によって、幅広く対応しています。
- ✓ 花の長さは、50 cmが基本であり、祭壇の形に合わせて、花の形や長さを使い分けています。

### 使う花の産地について

- ✓ 菊は九州のみ、洋花は愛知が中心で、花の種類によって他の産地から仕入れています。
- ✓ 国産がほとんどですが、花の需要が多いお盆の時期や年末・年始には、国産の花が不足するため、その場合には輸入ものも使用します。
- ✓ 輸入ものは、日持ちが短いものや、花の大きさが不揃いなどの問題点があります。



【一般葬・ホール施行】

主な花の種類 = 菊、トルコギキョウ、ユリ、カーネーション、  
クルクマ、コショウラン

使用本数 = 400本



【家族葬・ホール施行】

主な花の種類 = トルコギキョウ、ユリ、カーネーション、  
ストック

使用本数 = 150本 25